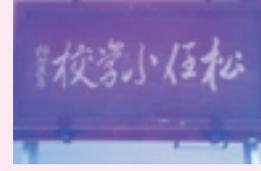


1 松任小学校

松小の始まりは寺子屋から

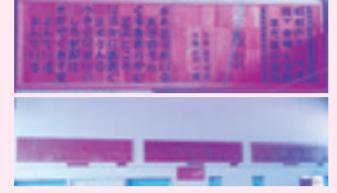
我が松任小学校の自慢は、歴史の長さです。創立は明治5年で、今年はなんと第145回目の入学式でした。また、松任では天保13年に「汲古堂(きゅうこどう)」という名の寺子屋が設立されており、幕末には児童数が240名いました。寺子屋の先生は松小創立とともに、教員になつたので、「松小の始まりは寺子屋から」ともいえます。



2 東明小学校

校歌のレリーフ

体育館には卒業制作の木彫レリーフが30年近く掲げられています。正面左右には「校歌」があり校歌齊唱を見守り続けている。後上部には「田植え」「稻刈り」「収穫」があり、昭和61年度から順に制作された。その年代がちょうど保護者として戻ってきた。その思い如何であろうか。学校の宝物と考える所以である。



3 北陽小学校

笑顔で創る挨拶の「わ」!!

このタイトルは、私たち北陽小学校育友会のスローガンです。子どもたちをはじめ、先生方、保護者の方々を含めて、みんなの「笑顔」にこだわっています。笑顔こそ私たち学校の宝なのです。毎年秋に実施する北陽祭のスローガンも「Let's Enjoy! Smile HOKUYO!」(楽しもう!笑顔の北陽)です。みんなを笑顔にできる学校、それが北陽小学校なのです。



4 旭丘小学校

地域との交流

私たち旭丘小学校は、地域の方々にご協力頂き、親子ふれあい田植え、親子ふれあい稻刈り、そしてお米を使っての餅つきフェスティバルを行っております。先日行われた親子ふれあい田植えでは、沢山の子どもたちの輝く笑顔があふれ、又、地域、先生方、保護者の交流が一層深まりました。この交流こそが私達の学校の宝です。



5 蕪城小学校

蕪城小学校の宝物

わが校には仕切りのないオーブンな図書コーナー「メディアホール」があります。毎日、図書館司書の方がお世話してくれます。絵本ばかりですので利用する児童は靴を脱いで入り静かに本を読んだり読みたい本を選んだりしています。学校の中心にありオーブンにしたことにより利用しやすさが抜群です。何より本が好きになるきっかけとしても最高の「宝スベース」です。



6 千代野小学校

子どもたちの輝く笑顔

千代野小学校の宝物は、「子どもたちの輝く笑顔」です。「かしこくやさしくたましく礼儀正しい」千代野子です。授業中は、目を輝かせて勉強しています。たてわり活動を通して、いろいろな学生の子とお友だちになり、たくさん遊びます。学校では、「子どもたちのさわやかなあいさつが飛び交います。何事にもがんばる姿がとても素敵です。



7 松陽小学校

「学校のみんな」が宝物

松陽小学校の子どもたちみんなに、「学校の宝物って何だと思う?」と質問してみました。PTAの活動方針にも取り入れている読書への取り組みが浸透しているようで、「図書室」という答えも多かったのですが、「図書室」という答えでした。実は内心一番期待していた答えだったのでとても嬉しい結果となりました。



8 石川小学校

わたしたちの学校の宝物

私達、石川小学校のお宝と言えばこの2つです。まずは、石川小学校の鐘です。これは昭和10年に建築された木造校舎の頃にあたるもので、数十年ぶりに見出された思い出の鐘です。今となってはどういう使われ方をしていたのかは定かではありませんが、伝統ある当校の古き良き「宝物」であります。もう一つは、今となっては珍しい!二宮金次郎像です。正面玄関の横で児童達を見守ってくれています。



10 湊小学校

湊小学校の宝物

湊小学校は明治6年3月に開設された歴史ある小学校です。明治11年1月より現在地に移り、昭和45年に現在の形になりました。校舎が新築されました。平成28年3月に耐震大規模改修工事が完成し、原形が残る新しい校舎になりました。親子三代で同じ校舎を見て小学校時代を懐かしく思えるのは湊小学校の宝物です。



これぞっ!

わが校のたから

今回は「これぞっ!わが校のたから」と題して、各校の「たから」を紹介します。それぞれの学校の「たから」と呼ぶにふさわしいものが必ずあるはず。それは、自慢できるものであったり、その学校にしかないものであったり。また、ものに限らず、場所であったり人であったり。

11 美川小学校

長年に渡り継承される鼓笛隊

ジャン、ジャン、ジャンジャ、ジャカジャカジャン
これは、美川小学校で古くから継承される鼓笛隊のドラムマーチという曲の最初のフレーズです。約半世紀前から今も同じ曲が、6年生で引き継がれ演奏されています。小学校の運動会、また、美川地区の運動会でも演奏し、世代を越えて地域の方々にもとても愛されている宝の曲です。



12 蝶屋小学校

宝物だと気づく事、それが大切

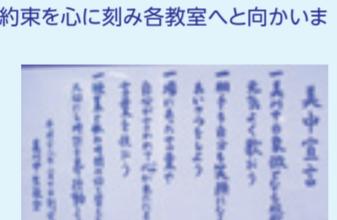
蝶屋小の宝は、潮の香る中、桜の木、田んぼ、線路、峰白山・・・この学園から望む景色の中、勉強する蝶屋っ子たち。そして、子どもたちが元気で、この風景がある蝶屋校舎を大切にしようサポートしてくれる人達の心、それが蝶屋小の宝です。故郷を愛し自慢出来る事。それは昔に比べて最高の宝であり、心の支えになるのではないかと思う。



24 美川中学校

生徒全員で決めた「美中宣言」

美中生として誇れる目標を決めるに当たり、生徒全員が何か出来ることがないか生徒一人一人が意見を出し合いで決めた4つの宣言(約束)です。宣言文は生徒直筆で正面玄関口に大きな額縁に入れて設置しています。また、各教室にも貼ってあります。生徒は毎朝、必ず宣言を見て4つの約束を中心に刻み各教室へと向かいます。



16 鳥越小学校

白山に見守られての楽しい給食

素直で元気な子どもたち、いつも温かく見守って下さる地域、全員参加で奉仕作業や資源回収で汗をかいてくださる保護者の皆さん。そしてもうひとつ、全校児童が一堂に会して給食を食べるランチルームは、大きな恩から、われらが白山が美しく気高くやさしく見守ってくれています。この素敵な環境こそが鳥越小学校の宝物です。



17 白峰小学校

屋根付きプール

本校は白山の麓にあります。昔から水泳に力をいれています。春になると、プールサイドに特注のテントを張り屋内プールへと変わります。只、標高が高い為、プールの水温は非常に冷たいのですが、児童も唇を青くながら頑張っています。冬季は豪雪地帯の為、テントは撤去します。この環境づくりが児童にとって宝だと感じています。



18 河内小学校

冬の体育はセイモアスキー場で!

3学期の体育は、毎週金曜日、午後からセイモアスキー場に集合です。全校生徒が参加するスキー教室。子どもたちは飲み込みが早く、あついう間に上達します。スキーの指導は地元のベテランコーチや達。地域の子どもたちのためのボランティア先生です。子どもたちが小さな体いい、自然の大さを感じる素敵な時間です。



19 白嶺小学校

つながり

白嶺小学校は、学校統合9年目を迎える今日までの間、白峰・尾口・吉野谷地区、それぞれに深く根差した地域文化の異なる力を保つことなく尊重してもらおうと、学校が地域に溶け込みつつあります。児童も自然にいざつしている姿を見て、「あいさつが自然にできている」とうれしくなります。このあいさつが白嶺中学校の自慢(宝)です。



27 鳥越中学校

あいさつあふれる学校

鳥越中学校は、生徒会を中心として、毎朝あいさつ運動を行っています。このあいさつ運動を通して、生徒全員が明るく元気にあいさつしています。学校外でも、積極的にあいさつしている姿を見て、「あいさつが自然にできている」とうれしくなります。このあいさつが鳥越中学校の自慢(宝)です。



14 明光小学校

きれいな学び舎

新校舎ということで「きれい」なのは当たり前と思う人もいると思います。でもそれだけでは「きれい」を続ける事はできません。子どもたちの「ものを大事にする」という心も必要だと思いますが、何より日々「きれいに掃除をする」という事が継続され、来校される方々に「きれい」な明光小学校を見えていただけていると思います。



15 広陽小学校

権兵衛さんのおり物

広陽小学校には、校歌の他に児童の誰もが歌える「七ヶ用水謡生物語—権兵衛さんのおくり物～」という歌があります。「七ヶ用水の父」と言われる権兵衛さんの偉業を称える歌で、全校集会では欠かさず歌われています。この歌を歌い継いでいくことで地域の偉人を知り、郷土愛を育んでくれるものと思っています。



25 鶴来中学校

植える花夢(Welcome)

私達の学校では、学校、生徒、保護者、地域ボランティアの方々が一緒に花壇作りに取り組んでいます。そこで育てられた大切な花々を、生徒会がFFP(フラワーレンドドリープロジェクト)として高齢者へ思いやりと感謝を持って届けます。色とりどりの花に囲まれながら、楽しく学べるよう取り組み続けたいと思います。



26 北辰中学校

目指せ“あいさつ”と“花壇”で日本一!!

昨年度、花いっぱいコクヨ中学校の部で最優秀賞をいただき、石川県一になりました。準備など大変ですが、毎年教職員・PTA・生徒一丸となって近所の方も見に来てくれるといい花壇を作っていました。今年度は、花壇に加え、あいさつにも、あいさつの質の向上を入れ、相手の目を見たあいさつを行い、北辰中学校の宝として、あいさつと花壇を育てていきたいです。

めさせ 内閣総理大臣賞!
「税」に関する作品募集!

中学生を対象に「税」をテーマに作品(作文、書道、ポスター)を大募集します。作文は優秀作品には、内閣総理大臣賞、総務、財務、文部科学の各大臣賞等、書道、ポスターについては、石川県知事賞、白山市長賞その他各賞が贈られます。日本一を目指して頭をひねり、腕をふるってみよう。

提出締め切り: 平成28年9月5日(月)

問い合わせ先: (公)松任法人会 事務局 274-3157

子どもを交通事故から守りましょう!!
~自転車乗車時にはヘルメットの着用を~

自転車ヘルメット購入費用を助成します!!

対象者 市内に住所を有する児童・児童の保護者

※児童:市内に住所を有する6歳未満の者

※児童:市内に住所を有する6歳以上13歳未満の者(中学生を除く)

助成額 1,000円(販売価格が1,000円に満たない時はその価格)

※必ず市内の事業協力店で購入してください。

※一人3年につき1回が限度です。

※「自転車ヘルメット購入助成券」が必要です。

お問い合わせは
市民生活部地域安全課まで
☎274-9537(直通)



編集後記

市P連広報紙「かがやき」第22号をお届けします。

昨年度は10周年の節目を迎え、「10年の軌跡」と題し市P連創立以来の歴史を振り返ってみました。皆様楽しんでいただけたでしょうか?

今年度から新たな時代を歩んでいくことになります。今号では、「これぞっ!わが校のたから」と題して、他の学校に紹介したい、自慢したい宝物を掲載させていただきました。自分の子どもが通う学校だけではなく、他校の宝物も見てみたい、交流してみたいと思っていたら、喜びます。

市P連の活動やお知らせ、市内小中学校27校のPTA活動を広報紙やホームページを通して情報発信していきます。今年度からは特に、読んで楽しい、勉強になった、次号が楽しみだと思っていただけるような内容にしたいと考えています。これからも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(広報委員長 柚木 重彦)